

### 未来センター会議 第3回ワークショップ

1月21日(日)、未来センター会議第3回ワークショップが揖斐川町地域交流センター「はなもも」で開催されました。

会議では、今までのワークショップにおいて多く意見があった「いびがわストーリーをつなぐ企画がしたい」「いびカフェをつくりたい」「役場玄関をつかって何かしたい」というテーマについて、楽しく継続的に行える活動に向けた話し合いをしました。

グループ討論では、具体化に向けたコンセプトや運営方法などについて様々なアイデアが出されました。

今後は、出されたアイデアを活動に向けて、できる取組などをさらに検討していきたいと考えています。



### 社会を明るくする運動作文 県校長会会長賞受賞

1月5日(金)、第67回社会を明るくする運動作文コンテストで、岐阜県小中学校校長会会長賞を受賞した小島小学校6年生の窪田翼さんが町長へ報告に訪れました。

社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない地域社会を築こうと全国的に行われています。

その活動の一環として全国の小中学生を対象に行われた作文コンテストは、社会を明るくする運動の趣旨を踏まえて、日常の家庭生活、学校生活の中で体験したこと、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行をした人たちの立ち直りについて考えたことなどをテーマとしています。

窪田さんは「心に元気を取り戻すために」という題名で、罪を犯してしまった人を皆で励ますことで心に元気を取り戻し、新たな一歩を踏み出すことができる」と作文に思いを込めました。



▲窪田翼さん(左)

### 中学生教育委員会 学校生活の向上を目指して

1月5日(金)、中学生教育委員会が揖斐川町役場で行われました。この取組は、よりよい学校生活を築くためにどうするべきかを話し合うもので、町内4中学校の1・2年生の代表17人が参加しました。

前半は、授業や清掃活動等、各学校で力を入れている取組を紹介し合い、良さを学びました。また、成果を挙げる上での悩みや疑問を出し合い、改善策を話し合いました。後半は、次年度に4校で重点的に取り組むテーマを協議しました。学校生活をさらに向上させるために「全員で」にこだわって取組みたいという願いが出され「いつでも どこでも だれにでも」をメインテーマとして「全員で思いやりのある行動をしよう」「全員であいさつをする心を育もう」の2つを「生徒会サミット宣言」として掲げ

ることを決めました。



▲テーマを協議する中学生教育委員会

### 第20回中学生海外派遣事業 中学生海外派遣

1月18日(木)から26日(金)までの9日間、交流都市であるアメリカセントジョージズ市で町内の代表中学生18人による派遣研修が実施されました。

研修では地元3中学校(ミドルスクール)で授業への参加や、お互いの町の良さの紹介、朝食づくりやゲーム等の活動を通して、交流を深めました。また宿泊や週末の活動は現地のホストファミリーにお世話になり、温かなおもてなしを受け、全員が安心して過ごしました。

研修中、行く先々でお礼を伝えると「揖斐川町の皆さんが、私たちに親切にしてくれたからです」と言われ、これまでの交流の深さを実感することができました。帰国した生徒たちは「研修で学んだことを今後の生活に生かしたい」と話しています。



▲ワシントン郡教育委員会を訪問した派遣団

### 北方小学校で豆腐づくり

1月31日（水）、北方小学校5年生が、JA女性部の食農リーダーの指導を受けて、豆腐づくりを体験しました。

この活動は、「食」と「農」の大切さを子どもたちに伝えるため、JAの主催で毎年開催されています。

豆腐の材料として使用する大豆は、児童らが種まきをし、育て、収穫したものです。水に浸しておいた大豆をミキサーで砕いてこし袋に入れ、木製の器具を使ってみんなで押さえ、絞ると、豆乳がにじみ出て溜まりました。豆乳に少量のりがりを入れ、絞ったあとの「おから」も利用し、ホットケーキも作りました。



▲豆腐づくりに挑戦する子どもたち

### いびがわババママ 子育てフェスタ

1月28日（日）、揖斐川町地域交流センター「はなもも」で、いびがわババママ子育てフェスタが開催されました。今回で4回目の開催となったこのイベントは、地域で子育てをする仲間

の輪を広げ、地域で子育てをする仲間を育てることを目的として、町内の先輩ババママで結成された「いびがわ子育て応援団」が企画運営をしています。

「お父さんといっしょに」はじめての絵本あそび」というテーマで行われた三輪吉弘さんの講演では、参加したババママが子どもとふれ合いながら、絵本遊びを楽しみ、学ぶ機会となりました。

このほかにも親子で参加するドーナツ作り教室やバランスボールを使った運動などが行われ、たくさん親子が交流を深めながら楽しめました。



▲絵本を読むババたち

### 久瀬振興事務所

### JAいび川久瀬支店完成

1月25日（木）、揖斐川町東津汲に久瀬振興事務所とJAいび川久瀬支店が一体となった複合施設が完成しました。

ともに老朽化や耐震性に問題があることから、町とJAが複合施設としての建替えを決定し、昨年春から工事を進めていきました。

新施設は鉄骨平屋建てで、施設北側が久瀬振興事務所、南側がJAいび川久瀬支店となっており、それぞれ出入口やホールなどを設けています。

新事務所は2月13日（火）から運用を開始しています。



▲テープカットのようす

### 第10回揖斐川町 特別支援教育フォーラム

2月10日（土）、揖斐川町谷汲サンホールで、特別支援教育フォーラムが開催されました。

このフォーラムは、今年で10年目を迎え、今年は「途切れない支援、地域で暮らし続けるために」をテーマに、障がいのある人や家族にやさしいまちづくりについて考えました。

町内外から、保護者や特別支援に関わる様々な機関の職員など、約200人が参加しました。

前半は、飛騨市長の都竹淳也さんによる講演が行われました。支援施策の紹介とともに、不安と戦う本人と家族に「何も心配はいりませんよ。安心してくださいなね。」と心の底から言える地域づくりへの展望を話しました。

後半は、シンポジウムが行われ、保護者・特別支援学校・行政、それぞれの立場で行っている支援の実状と願いが発表され、参加者が思いを共有しました。



▲支援の必要性を共有しました